

# I C T 通信 10月号

今年の夏は特に暑いので熱中症には注意しましょう。今回の担当はME科です。スポルディング分類について説明したいと思います。

器材の分類	対象	物品	処理方法
クリティカル	無菌の組織や血管系に挿入する	手術用器械・インプラント 器材・針	滅菌
セミクリティカル	粘膜または創のある皮膚と接触するもの	人工呼吸器回路・麻酔関連 器材・内視鏡・ネブライ ザ・アンビューバック 飲食用物品	高水準消毒
		体温計（口腔）	中水準消毒
ノンクリティカル	医療機器表面	モニター・ポンプ類	清拭清掃
	傷のない正常な皮膚に接触	便器・尿器・血圧計のカ フ・聴診器	低水準消毒 アルコール清拭
	ほとんど手が触れない	水平面（床）	定期清掃、汚染時清掃 退院時清掃
		垂直面（壁・カーテン）	汚染時清掃 汚染時洗浄
	頻繁に手が触れる	ドアノブ・ベッド・ベッド 柵・床頭台・オーバーテー ブルなど	一日一回以上の定期清掃または定期消毒

図1 スポルディング分類

医療機器などの消毒や滅菌方法の目安として用いられている判断基準に、スポルディングの分類があります。医療機器などを使用する際の感染のリスクを基準としています。医療機器などが人体のどの部分に触れるか、又は触れないかで、消毒するか滅菌するか、又、洗浄だけでいいかが決まります。

下記の3種類に分類されています。

クリティカル・セミクリティカル・ノンクリティカル

クリティカルは厳密な処理で、滅菌が必要です。

セミクリティカルは中程度の処理で、中水準又は高水準の消毒が必要です。

\*器材によっては消毒薬が使用できない器材もあります。

その場合は、滅菌が必要になります。

ノンクリティカルは感染のリスクが最も低いとされているため、低水準の消毒か、又は、洗浄だけでいいものもあります。

\*スポルディングの分類はCDC（米国疾患防疫センター）が公表しているガイドラインです。